

過去の治療データの調査研究への使用のお願い

当院では下記の研究を行っております。この研究は、【帝王切開における穿刺針別の硬膜穿刺後頭痛の発生率】を調べることを主な目的としています。そのため、過去に帝王切開の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

課題名：当院での帝王切開における脊髄くも膜下麻酔で用いる脊麻針の運用変更が硬膜穿刺後頭痛発生率に与える影響

<目的及び概要>

当院の帝王切開用の手術室には脊髄くも膜下麻酔および硬膜外麻酔に使う針や薬剤、消毒がいつでも使用できるよう看護師によって準備されており、予定、緊急を問わず帝王切開が申し込まれた際はその物品が使用されている。2024年12月までは脊麻針としてクインケ針が準備されており、麻酔担当医が針の変更を申し出ない限りはクインケ針が使われていたが、硬膜穿刺後頭痛のリスクを減らすため2025年1月からはペンシルポイント針を準備するようにした。今回その効果を検討する。

<研究方法>

2024年3月から2025年5月までに帝王切開を受けた患者の手術記録および、診療録からデータを取得する。主要評価項目はPDPHの発生の有無、頭痛の有無、頭痛を認めた日数とした。

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

<費用に関して>

この研究に参加することによって新たな診療費用が加わることはありません。また、患者様への謝礼等もありません。

<研究者>

麻酔科： 瀬口 智樹・古賀 聡人 他

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事企画課

電話：0798-34-5151（代表）